

黒河(くろこ)の会便り 第 15 号

◆ 春の高野参詣 黒河道 雑事登り

4 月 18 日(土)の黒河道(ZOUJINOBORI)は快晴のもと、総勢約 100 名もの一般参加者及び役員により盛大に行われました。



応其時にて受付を済ませた参加者は 6 班に組み分けられ、午前 7 時 45 分に定福寺に立ち寄り、生地住職による登山安全祈願を受け出発していきました。地域の皆様から寄せられた旬の筍・野菜・花卉などは籠に入れられ、幟旗とともに高野山にのぼりました。荷物を背負い、幟旗を持ってくれたのは高野山高等学校 3 年生の野球部員です。奥の院までの 19 キロにも及ぶ登りコースは険しく、相当きつかったようですが、全員怪我もなく 午後 3 時半頃には桜が満開の高野山に無事に到着しました。



奥之院では、参加者全員が御供所に招かれ、金剛峰寺山林部長 山口文章 氏や僧侶による受渡式が行われました。山口氏からは途絶えていた雑事登りの復活に対し高野七口再生保存会への労いと感謝の言葉を賜りました。

古来より この行事が永らく続いてきた背景には、雑事登りがただのウォークではなく伝承されてきた宗教行事であること。ご利益があるからこそ続いてきた。数えきれない人々が歩いた道、足跡には何百年と踏み固められた先人の願いがこもっている。それをたどり、菜の花や野菜を持って歩いて登ってこられることをお大師さまは見て喜んでおられる、1200 年という年に行事を復活し本日お登りいただいたことは有難く、きっと皆様にも、お大師様の平等なご加護が降り注ぐことと思います。と話されました。



登山者一同は ここで解散、それぞれ奥の院参りや壇上を見学、帰途につきました。まさに大師日和ともいえる快晴の一日でした。



秋の高野山参詣黒河道雑事登り

秋の雑事登りの予定は 10 月中・下旬の紅葉の頃に予定していますので、ご協力をお願いします。

←黒河道の復活と応援を俳句にして寄せていただきました

一枝の
桜添えあり 雑事懸け
全日本伝統俳句協会(ホトトギス)
会員 岩橋 蘇風(哲也)